

<b>チーム・マネジメント</b>		<b>池田 浩</b>	
-------------------	--	-------------	--

配当年次	2年次	配当学期	集中	科目区分	アドバンスト
単位数	2単位	必修・選択	選択	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標  
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識	○	チームマネジメントに関する専門的知識を修得する。
	実践知識		
技能	分析解決技能		
	実務技能		
	新規事業技能	○	事業立ち上げに必要なチームを編成しまとめる力を修得する。
態度	倫理観態度		
	企業変革態度	○	課題解決に必要なチームの特性を理解し、チームをつくる力を修得する。
	地域リーダー態度	○	優れたチームマネジメントを実践するリーダーシップを修得する。
	国際協調態度		

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

チーム・マネジメント

※ 2013年度以降入学生が対象です。

### 授業の概要

この授業では、チームを構成するメンバーが、活動を通して相互作用する過程でチームに備わってくる（創発されてくる）特性としてチームワークやチーム・シナジーを理解する。そして、優れたチームを形成するために必要とされるチーム・リーダーシップとして、チームレベルとして発生する共有型・分有型リーダーシップ、メンバーを下から支援するサーバント・リーダーシップを理解しながら、チームをより高品質なものへと育み、強化するための働きかけを考える視点について論じていく。

グループ・ダイナミクス、社会心理学、組織行動論を学術的論考の基盤としつつ、組織現場で発生している現実問題を題材として取り上げながら、いかなるマネジメントが効果的であるのかを、マイクロレベル（＝個人の心理プロセスや行動特性）と、それらが相互作用することでできあがり、また変容していくマクロレベル（チーム・パフォーマンス、チーム規範、チームワーク等）の相互作用ダイナミズムに注目しながら、講義を進めていく。具体的に取り上げるトピックは、次のような構成を考えている。

1. チーム・マネジメントに関する研究と実践の歴史
2. チームとは何か
3. チーム・モチベーション
4. チームワークとは何か
5. チームにおける問題解決
6. チーム・リーダーシップ
7. サーバント・リーダーシップ
8. メンバーのフォロワーシップ

### 教科書

各回で研究資料を配付する。

### 参考書

「チームワークの心理学―よりよい集団づくりをめざして―」山口裕幸(著)サイエンス社  
「チームマネジメント」古川久敬(著)日経文庫  
「サーバント・リーダーシップ」ロバート・グリーンリーフ(著)金井壽宏(監修)・金井真弓(訳)英知出版

### 授業計画・内容

この授業は、集中講義形式での開講を予定しており、第1日（金・2コマ）+第2日（土・6コマ）+第3日（金・2コマ）+第4日（土・5コマ）で構成を考えている。また、講義を基盤とするが、課題を準備して、自らの意見を考えたり、受講生どうしで議論したりする、演習形式も適宜、取り入れる。

<1日目：2コマ（講義を中心に進めます）>

- ① チーム・マネジメントに関する研究と実践の歴史【機械組織観、ホーソン研究、オープン組織】

- ②チームとは何か【チームの特性、類型、硬直化現象】  
<2日目：6コマ（講義とグループワーク）>
- ③チーム・モチベーション【プロセスロス、プロセスゲイン、腐ったリンゴ効果】
- ④チームワークとは何か（1）（課題を用いた実習）
- ⑤チームワークとは何か（2）【相互調整、相互支援】
- ⑥チームワークとは何か（3）【共有メンタルモデル、トランザクショナル・メモリー】
- ⑦創造的な問題解決を実現するチーム・シナジー【意思決定、創造性、シナジー効果】
- ⑧チーム・ビルディング【チームラーニング、チームトレーニング】  
<3日目：2コマ（講義）>
- ⑨チーム・リーダーシップとは何か【信頼、影響力、共有型リーダーシップ、分有型リーダーシップ】
- ⑩チーム・リーダーに求められる特性【コンピテンシー、性格、能力、倫理性】  
<4日目：5コマ（講義と演習）>
- ⑪チームメンバーを下から支えるサーバント・リーダーシップ【奉仕、支援、自己犠牲】
- ⑫チームメンバーを下から支える「サーバント・リーダーシップ」（課題を用いた演習）
- ⑬モチベーションを鼓舞するリーダーシップ【モチベーション、コーチング、感謝】
- ⑭チームメンバーのフォロワーシップ【フォロワーシップ、積極的関与、独自の考え方】
- ⑮優れたチームを作るために（総括）

<b>成績評価の方法</b>	授業の途中で課される課題への解答の精度（25%）、課題や議論への参加態度（25%）、レポートの品質（50%）を総合して成績を評価する。
<b>事前・事後学習の内容</b>	（1）授業開始前までに、あらかじめ授業計画に記載してある各回のキーワードについて、その概念を調べたうえで、出席するようにしてください。 （2）授業終了後、疑問の残っている点をノートに書き出したうえで、次の日の授業に出席してください。その疑問について授業の中で発表していただき、議論します。
<b>履修上の注意</b>	集中講義で開講しますので、1コマだけ休むということが難しい授業です。全コマ出席できることをあらかじめ良く確認して履修するようにしてください。
<b>担当者からのメッセージ</b>	組織の職場において、どうすれば人は自律的なモチベーションをもって仕事に取り組むことができるか、相互に高質な協力連携をすることができるか、また管理者の立場に立ってそれらをどのようなマネジメントによって引き出すことができるかを理論的根拠とともにそれを支持する実証的な知見（データ）を添えながら講義を行います。それに加えて、受講者の皆様のご発言を頂きながら、理論と実践とを結びつけていきます。
<b>キーワード</b>	